

令和 8 年度

石川県立看護大学

一般選抜 前期日程 入学試験

小論文問題 (90分)

[注意事項]

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子、解答用紙の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は ページあります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁
または解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答はすべて解答用紙の指定された解答欄に記入しなさい。
- 4 解答用紙の表紙に受験番号および氏名を記入しなさい。また、以降のページには受験
番号を記入しなさい。
- 5 この問題冊子の下書き用紙等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけ
ません。
- 6 問題冊子は試験終了後、持ち帰りなさい。

問題 科学的思考に関する次の文章を読み、設問に答えなさい。

この部分につきましては、著作権の都合上、公開していません。

(伊勢田哲治：疑似科学と科学の哲学，名古屋大学出版会，201-204，2003 より一部改変して引用)

問1 下線部(1)について、なぜ(A)の方が多いといえるのか、また、なぜ(B)の方が多いと判断してしまうのか、180字以内で説明しなさい。

問2 「偶然ならとてもありそうにないことが、高い頻度でおきている」と判断したくなるような事例に直面した場合、どのようなことに気を付けるべきか、本文を参考に、240字以内で述べなさい。

<出題意図>

心理的バイアスと確率に関する文章を通じて、科学的に考えることについて深く考えることを求めるとともに、論理的な読解力・思考力・表現力を問う。

<解答例>

問1

フェミニズムの活動もする銀行員は銀行員の一部であるのだから、(B)の方が多くことはあり得ない。しかしながら、われわれは「典型的」なものの頻度を実際より大目に見積もる傾向があり、また、頭がきれ、大学で哲学を専攻した女性が、銀行員となってもフェミニズムの活動もする、というのは人びとが思い浮かべやすい典型的な人物像なので、(B)を多く見積もってしまう。(174字)

問2

何らかの必然的な原因があると考える前に、その判断が心理的バイアスに由来していないかを考える必要がある。具体的には、そのことが非典型的であるために代表性バイアスによって起きる頻度が低く見積もられ、あるいは、他のことの方が思いつきやすいために利用可能性バイアスの影響を受けているだけで、実際には十分な頻度で起こらないことを確かめるべきである。また、実際に低い頻度でしか生じていない事柄なのだが、母数が多いために高い頻度で起きているように感じているだけではないかを疑うべきである。(237字)

注：上記「出題意図」および「解答例」に関する質問には回答いたしかねます。